# 第 21 講 【現代編】冷戦の終結と現代世界
# PART2 冷戦の終結

## Chapter 1 「新冷戦」とソ連のペレストロイカ

目標
「新冷戦」に対して，アメリカがどのように対応したのかをおさえよう。
ソ連のペレストロイカの目的を理解しよう。

### 1 「新冷戦」とアメリカ

1969 年　米ソが**第一次戦略兵器制限交渉**（SALT Ⅰ）を開始
※モスクワでニクソン大統領とブレジネフ書記長が，戦略核兵器のミサイル配備数の凍結について交渉。

1979 年　米ソが**第二次戦略兵器制限交渉**（SALT Ⅱ）に調印
※ミサイルに搭載する核弾頭数について上限を定める。

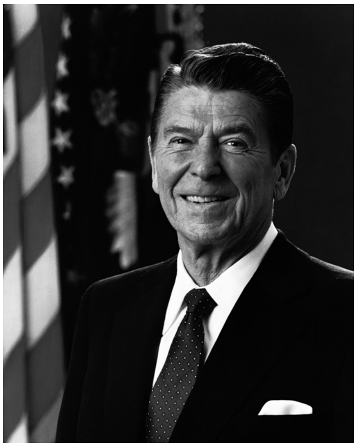
1979 年　ソ連が親ソ政権を支援するため〔　　　　　　　　　　　　〕へ軍事侵攻
→米ソ関係が悪化，「**新冷戦**」（第二次冷戦）がはじまる。**SALT Ⅱ**は失敗
※多くの西側諸国が 1980 年のモスクワオリンピックをボイコット。

1981 年　共和党の〔　　　　　　　〕がアメリカ大統領に就任
※〔　　　　　　　　　　　　〕を掲げて，軍備の拡張，強硬な対ソ外交を行う。

1983 年　アメリカがカリブ海の島国**グレナダ**に侵攻，親米政権を樹立
※多くの東側諸国が 1984 年のロサンゼルスオリンピックをボイコット。

1985 年　アメリカが債権国から債務国に転落
※財政赤字と貿易赤字という
〔　　　　　　　　　　　　〕に苦しむ。

1985 年〔　　　　　　　　　　〕で，ドル高の是正と為替レートの調整を行う
※米・英・西ドイツ・仏・日の先進 5 か国がニューヨークのプラザホテルで会談。


レーガン大統領

## 2 ソ連のペレストロイカ

1985年　〔　　　　　　　　〕がソ連共産党書記長に就任

※〔　　　　　　　　〕（改革），〔　　　　　　　　〕（情報公開）を掲げて，社会主義体制の改革に着手。

→市場経済への移行，言論・信教の自由，民主主義をもたらす

※外交では「**新思考外交**」（協調外交）を展開。

→1985年に米ソ首脳会談が実現，核軍縮交渉を行う

1986年　〔　　　　　　　　〕がおこる

※数百万人が被災，被害は周辺諸国にも拡大。

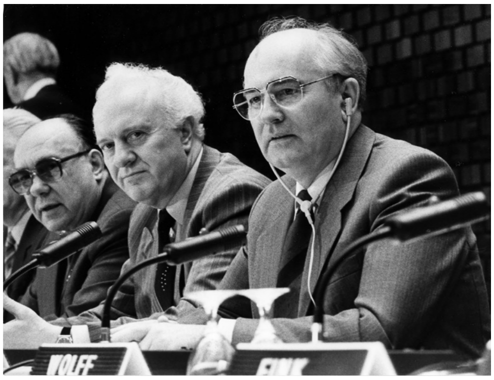
1987年　アメリカと〔　　　　　　　　〕を締結

※レーガン大統領とゴルバチョフ書記長の間で結ばれた核軍縮条約。

1989年　ソ連軍が**アフガニスタン**から撤退

※ゴルバチョフが実行，軍縮の実行を世界に示す。

1989年　ゴルバチョフが中国を訪問して**鄧小平**と会談。国交を正常化




ペレストロイカを推し進めるゴルバチョフ

まとめ

レーガン大統領が，「強いアメリカ」を掲げ，ソ連に対抗した。
ゴルバチョフがペレストロイカによって社会主義体制の改革を図った。

# Chapter 2　民主化の広がりと冷戦の終結

目標
「東欧革命」がはじまったきっかけを理解しよう。
冷戦がどのように終結したのかを確認しよう。

## 1　冷戦の終結

1980 年　ポーランドで労働者が〔　　　　　　〕を指導者として，自主管理労働組合

〔　　　　　〕を結成。ポーランドの民主化を目指す

※はじめはヤルゼルスキ大統領により「連帯」は非合法化される。

1988 年　ゴルバチョフが新ベオグラード宣言を発表

※東欧諸国に内政干渉を行わないことを表明する。

1989 年　ポーランドの総選挙で「**連帯**」が圧勝し，非共産党政権が成立

※翌年，**ワレサ**が大統領に就任。

1989 年　ハンガリーで共産党独裁体制が崩壊

1989 年　東ドイツの**ホネカー**政権が崩壊

→分断の象徴〔　　　　　　　　　　〕が開放される

1989 年　ブルガリアで共産党独裁体制が崩壊

1989 年　チェコスロヴァキアで民主化が実現（ビロード革命）

1989 年　ルーマニアで独裁体制が崩壊，**チャウシェスク**大統領が処刑される

→東欧社会主義圏が消滅〔　　　　　　　　〕

1989 年　米ソ首脳が〔　　　　　　　　　〕で〔　　　　　　　　　〕を宣言

※ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長が地中海のマルタ島沖合でマルタ宣言に調印。

1991 年　コメコンが解散，ワルシャワ条約機構が解体される

1991 年　米ソが**第一次戦略兵器削減条約**（START Ⅰ）を締結

※大陸間弾道ミサイル（ICBM）など戦略核兵器の削減を規定。

ベルリンの壁開放

マルタ会談

## 2　東西ドイツの統一とソ連の消滅

1990年　西ドイツが東ドイツを吸収する形で〔　　　　　　　　　　〕が実現

※首都はベルリン。

1990年　〔　　　　　　　　　　〕がソ連からの独立を宣言

※エストニア・ラトヴィア・リトアニアは91年に独立を承認され，国連に加盟。

1990年　ゴルバチョフが憲法を改正，大統領制を導入して初代大統領に就任

1991年　改革派の〔　　　　　　　　　　〕がロシア共和国の大統領となる

※ゴルバチョフ体制を批判し，ロシアのソ連からの独立を主張。

1991年　**エリツィン**が，反ゴルバチョフのソ連共産党保守派のクーデタを鎮圧

1991年　〔　　　　　　　　　　〕の解散が宣言される

1991年　ロシアを中心として〔　　　　　　　　　　〕（CIS）を結成

※ソ連を構成していた15の共和国のうちバルト3国を除く12か国が参加。

**→ソ連が消滅**

まとめ

「連帯」がポーランドを民主化すると，東欧各国の民主化が続き，「東欧革命」がはじまった。

1989年に「東欧革命」とベルリンの壁開放が続いたのち，マルタ会談で米ソ首脳が冷戦を終結した。

# 第 21 講 PART 2 確認問題

**1** 新冷戦（第二次冷戦）がはじまるきっかけとなった，1979 年の出来事はどれか。

① ソ連のチェコスロヴァキア軍事介入　② 中ソ国境紛争
③ ソ連のアフガニスタンへの軍事侵攻　④ キューバ危機

**2** アメリカの大統領で，「強いアメリカ」を掲げて軍備を拡張した人物はだれか。

① レーガン　② ニクソン
③ ケネディ　④ カーター

**3** 1985 年にソ連共産党書記長に就任し，ペレストロイカと呼ばれる改革政策を実行した人物はだれか。

① エリツィン　② ブレジネフ
③ ゴルバチョフ　④ フルシチョフ

**4** 1987 年にレーガン大統領とゴルバチョフ書記長の間で結ばれた核軍縮条約はどれか。

① 部分的核実験禁止条約　② 中距離核戦力全廃条約
③ 核拡散防止条約　④ 戦略兵器削減条約

**5** 自主管理労働組合「連帯」の指導者で，1990 年にポーランドの大統領になった人物はだれか。

① チャウシェスク　② ゴムウカ
③ ホネカー　④ ワレサ

**6** ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長が冷戦の終結を宣言した，1989 年の首脳会談はどれか。

① ヤルタ会談　② マルタ会談
③ カイロ会談　④ テヘラン会談

**7** ロシア共和国大統領となり，1991 年の保守派のクーデタを鎮圧した人物はだれか。

① エリツィン　② ブレジネフ
③ ゴルバチョフ　④ フルシチョフ

**8** 1991 年にソ連を構成していた 12 か国が参加して結成された共同体はどれか。

① コミンテルン　② ヨーロッパ共同体
③ ヨーロッパ経済共同体　④ 独立国家共同体

# 第 21 講　PART 2　確認問題 解答

**1** 解答：③

1979 年に**ソ連のアフガニスタンへの軍事侵攻**をきっかけとして再び米ソ関係が悪化し，新冷戦（第二次冷戦）がはじまった。

**2** 解答：①

「強いアメリカ」の復活を掲げて大統領となった**レーガン**は，軍備の拡張，強硬な対ソ外交を行った。

**3** 解答：③

1985 年にソ連共産党書記長に就任した**ゴルバチョフ**は，ペレストロイカ（改革），グラスノスチ（情報公開）を掲げて社会主義体制の改革を実施した。

**4** 解答：②

レーガンとゴルバチョフは 1987 年に**中距離核戦力**（INF）**全廃条約**を締結した。

**5** 解答：④

1989 年の総選挙で「連帯」が圧勝し，翌年，**ワレサ**が大統領に就任した。

**6** 解答：②

ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長は，地中海のマルタ島で首脳会談を行い，冷戦の終結を宣言した。これを**マルタ会談**という。

**7** 解答：①

**エリツィン**は，ロシア共和国の大統領となり，1991 年の保守派のクーデタを鎮圧した。

**8** 解答：④

1991 年末，ロシアを中心に**独立国家共同体**（CIS）が成立し，ソ連が消滅した。